

平成 28 年度『いわき建設事務所 設計時施工技術検討会』実施結果について

平成 28 年 7 月 19 日

いわき建設事務所

1 概 要

いわき石川線は災害時の緊急輸送路（第 2 次指定確保路線）に指定され、重要港湾小名浜港から中通り地方を結ぶ物流道路として、広域的な連携、交流を促進する大変重要な路線である。

才鉢工区は、落石の危険箇所が多数点在し法面崩壊等の災害時には長期間通行止めとなり、物流や生活に甚大な損害を受ける状況となっており、安全な車両交通の支障となっていることから、危険箇所を回避し安全で円滑な通行を確保するため延長約 3 k m のバイパスを計画している。

このうち、実施中である（仮）才鉢 1 号橋、（仮）才鉢 2 号橋の橋梁詳細設計に含まれる下部工施工計画案が、現場条件に即した設計や工法等となっているか検討するため、現場経験豊富なアドバイザーを招き設計時施工技術検討会を実施した。

2 設計委託の内容

○橋梁詳細設計（仮）才鉢 1 号橋 （受注業者：株式会社オリエンタルコンサルタンツ）

・橋梁上部工 L=164.4m、下部工 N=3 基（A1,P1,A2）、仮設工、仮橋工等

○橋梁詳細設計（仮）才鉢 2 号橋 （受注業者：日本工営株式会社）

・橋梁上部工 L= 99.1m、下部工 N=3 基（A1,P1,A2）、仮設工、付替道路工等

3 検討会の内容

○橋梁下部工施工計画案について

【主な検討内容】

- ① 現地盤（堅固な岩盤）へ対応した施工方法が選定されているか。
- ② 全体の施工順序及び河川や現道の切回し工、仮設土留工、仮橋工などの仮設計画は、現場条件や実作業に即した内容となっているか。



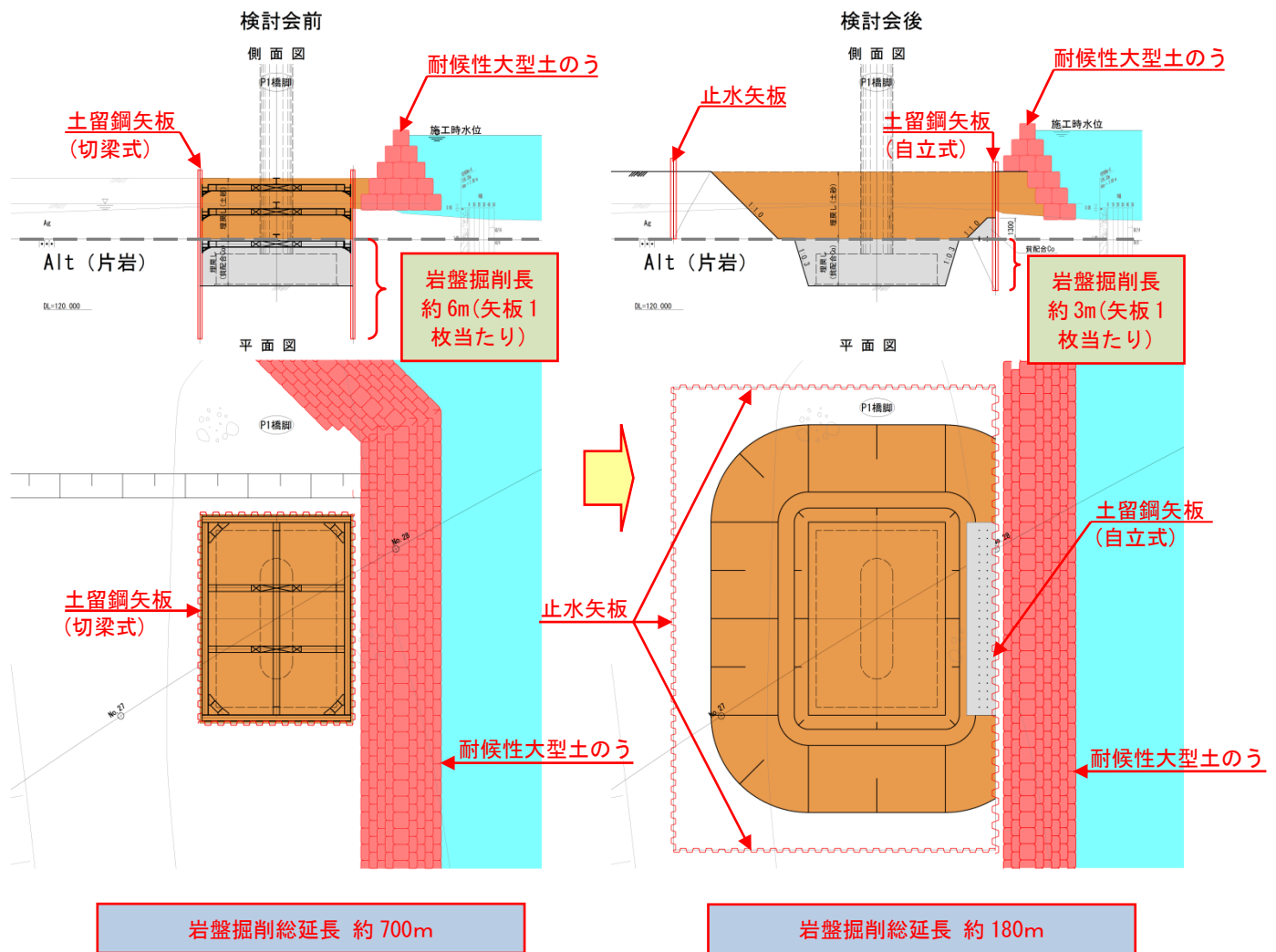
検討会状況

4 主な検討結果

- ① 仮締切工について、同一河川での工事経験より、鋼矢板の堅固な岩盤への掘削～立こみには相当な時間を要することが想定されるため、岩盤への掘削を極力抑えられる工法となるよう再検討することとし、検討会后、別図のとおり計画を修正した。
- ② 河川の仮切回しに使用する大型土のうについて、現計画では単純に 6 段積みとする計画になっているが、施工ヤードの盛土法面前面に 2 個並べ 6 段積みとし、大型土のうの製作、設置個数を少なくすることとした。

【 次頁へ続く 】

①岩盤掘削延長



②大型土のう個数

